

# 議案第131号

## 「第2次佐野市総合計画 基本構想の策定について」

— 基本構想に対する質疑が行われ、可決されました —



第2次佐野市総合計画基本構想は、平成30年度から平成41年度までの12年間を計画期間としたものであり、佐野市が目指すべき将来像やそれを実現するための行政経営方針等を示すものです。

この基本構想に対し、これまでに全議員を対象とした議員懇談会を3回開催して質疑を行い、12月定例会においては、12月5日に会派を代表して4人が、会派に属さない議員1人が質疑を行いました。

### 佐野市の将来像

水と緑にあふれる  
北関東のどまん中  
支え合い、人と地域が  
輝く交流拠点都市

#### キーワード

#### 目指す姿

- |            |  |
|------------|--|
| 【水と緑にあふれる】 | ・水と緑に包まれた豊かで美しい自然環境の佐野   |
| 【北関東のどまん中】 | ・北関東3県の中心、北関東自動車道、東北自動車道の結節点であり、交通の要衝として重要な位置を占める佐野                      |
| 【支え合い】     | ・市民と行政が協働し、力を合わせて取り組むまちづくり   |
| 【人と地域が輝く】  | ・市民一人ひとり(子どもから高齢者まで)が地域でいきいきと生活し、地域も輝くまちづくり                              |
| 【交流拠点都市】   | ・日本の緯度経度の中心、交通の要衝としての立地条件を活かし、国内外との観光、スポーツ、産業・文化等を通じた交流拠点として、まちの発展を目指す佐野 |



春山 敏明 議員(新風)  
第2次佐野市総合計画基本構想の土地利用について

**Q** 土地の利用の基本方針では市街ゾーン箇所国道50号線の新たな開発が記されている。第2次佐野市総合計画基本構想策定では、基本計画策定に向けて、どの程度の計画進行の開発を想定して基本構想案としたのか。

**A** 市長

基本計画の施策である都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進において進めていきますが、産業振興地域ということも考慮して、工業系だけではなく、農業や観光の振興なども視野に入れた構想の策定を進めていきたいと考えています。